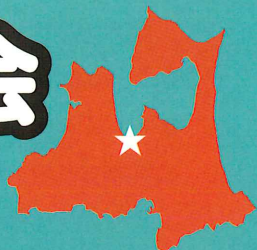


第34回

日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会 青森大会



「共に生きる社会」をつくる社会福祉士
～じゃわめぐ未来へ「わ」と「な」をつなぐ～



十二湖 青池 (深浦町)



鶴の舞橋 (鶴田町)



弘前城 (弘前市)



無島 (八戸市)



青森ねぶた祭 (青森市)



青函連絡船 (青森市)



弘前市りんご公園 (弘前市)



恐山 (むつ市)



奥入瀬溪流 (十和田市)

会期

2026(令和8)年7月4日(土)・5日(日)

会場

リンクステーションホール青森(青森市堤町1-4-1)
ホテル青森(青森市堤町1-1-23)



主催
公益社団法人 日本社会福祉士会・公益社団法人 青森県社会福祉士会

青の煌めきあおもり国スポ・障スボ公式マスコット
「アップリート君」

大会趣旨

世界では分断と争いの危機が高まる一方で、国内では、人口減少に伴う地域社会の維持が課題となっています。人々の生活課題が複合化し、孤立・孤独化等の問題が大きくなり上げられています。

このような社会情勢の中、「人々の生活と権利の擁護及び社会福祉の増進」を使命とする私たち社会福祉士には、地域共生社会の実現に向け、その専門性を発揮し、役割を果たすことが求められています。

本大会では、社会福祉士が、多様な主体との「わ(私)」と「な(あなた)」のつながりの力で、すべての人々が役割を持ち、支えあいながら明るく暮らす地域共生社会を創造する方策を、共に考えます。

日々の業務に奔走する社会福祉士が集い、熱き「思い」を、生命力あふれる縄文の地で炎高く燃やし尽くしましょう。

大会プログラム

1日目 2026年7月4日(土)

09:30~12:00	全国大会プレ企画
12:30~13:00	開会式
13:00~13:45 (行政講演)	「社会福祉士への期待(仮題)」 講師：厚生労働省 社会・援護局
13:45~15:15 (基調講演)	「共に生きる社会」をつくる社会福祉士への期待 ～住民・当事者協働の包摂(インクルーシブ)社会づくり：人口減少地域の課題解決のために～ 講師：大島 巖 氏(東北福祉大学副学長 日本ソーシャルワーク学会副会長)
15:15~15:30	休憩
15:30~17:00 (シンポジウム)	人口減少地域で考える誰も取り残さない未来の実現 ～住民、多職種で作る「じゃわめぐ未来」とけっばる社会福祉士～ ○シンポジスト 田中 利明 氏(社会福祉法人 蓬田村社会福祉協議会事務局長) 小林 大真 氏(社会福祉法人 千年会理事長 障害者支援施設千年園園長) 鹿内 葵 氏(一般社団法人 みらいねっと弘前代表理事) 納谷 むつみ 氏(公益社団法人 青森県社会福祉士会 会長) ○コーディネーター 工藤 英明 氏(青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 教授) ○助言者 大島 巖 氏
17:00~17:10	翌日のインフォメーション 1日目終了
18:00~20:00	懇親会

青森大会
特設サイトはこちら!



2日目 2026年7月5日(日)

09:30~12:30	社会福祉士学会(分科会・青森特別分科会・ポスター発表)
12:30~13:30	休憩
13:30~15:00 (記念講演)	「ねぶたに込める共生のこころ ～地域の力が生み出す光～」(仮題) 講師：竹浪 比呂央 氏(ねぶた作家 竹浪比呂央ねぶた研究所 主宰)
15:00~15:20	閉会式・次期開催県引継ぎ式

※プログラムは変更となる場合があります。